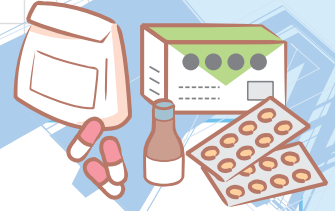


- ジェネリック医薬品について
- 「治験管理センター」から「臨床研究開発センター」に変わりました！
- 検査部の受付システムが変わりました
- 再来受付機のご利用方法が変わりました
- 今井 眞講師がイグ・ノーベル賞を受賞

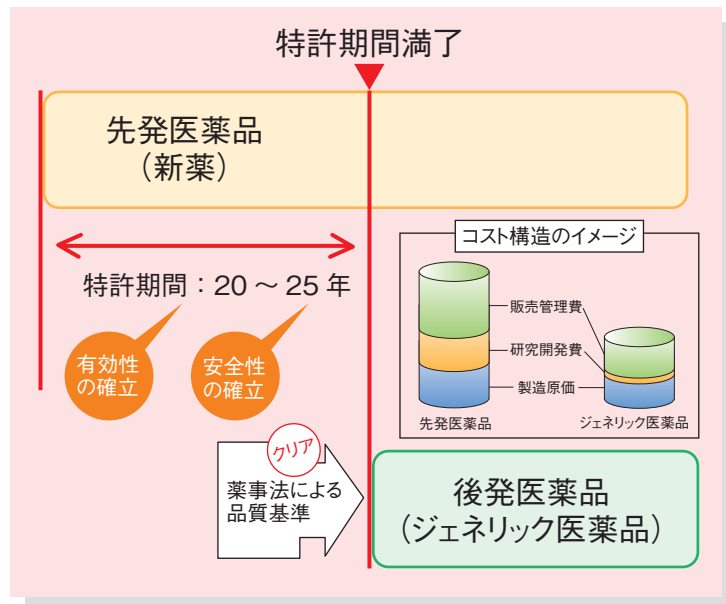
ジェネリック医薬品について

薬剤部



当院では、昨年度より患者さんの負担軽減、国の医療保険財政の改善、並びに当院の財務基盤強化を実施するために、ジェネリック医薬品の採用を進めています。ジェネリック医薬品ってよく分からないと感じておられる患者さんも多いと思いますので、今回病院ニュースの誌面をお借りして、その概略を紹介したいと思います。

ジェネリック医薬品は、俗に後発医薬品とも呼ばれ、先発医薬品（新薬）に対する言葉として使用されています。先発医薬品は、特許が満了するまで、その開発に携わった会社が独占的に販売することができます。しかし、医薬品の特許が切れると、他の医薬品メーカーでも厚生労働省の承認を得れば、その医薬品を製造・販売することができます。従って、世に出たての新薬にはジェネリック医薬品は存在しないことになります。



一般に新薬の開発には莫大な費用（数百億円）と期間（約10～20年）がかかりますが、ジェネリック医薬品の場合はいずれも大幅に削減できるため、価格が安く設定されます。低価格であっても、薬の有効成分は先発医薬品と同一であり、また先発医薬品と同じ規制のもとで開発・製造・販売されていることから、基本的な薬効や品質は確保されているといえます。ただし、先発であろうとジェネリックであろうと、医薬品は体にとっては異物になりますので、アレルギー等の副作用リスクを完全に排除することは困難であることも、心に留めておいて下さい。

さらに詳しい情報がお知りになりたい場合は、政府公報「安心してご利用いただくために。ジェネリック医薬品Q&A」¹⁾や、政府インターネットテレビ「お薬代が安くなる?! ジェネリック医薬品」²⁾などのホームページをご覧になるか、薬剤師にご相談下さい。

1) http://www.gov-online.go.jp/featured/201106_01/index.html

2) <http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg4155.html>

「治験管理センター」から 「臨床研究開発センター」に変わりました！

臨床研究開発センター

平成23年10月1日から従来の「治験管理センター」の呼び名が「臨床研究開発センター」と改められ、これまでの治験の業務に加え滋賀医科大学医学部附属病院で実施される臨床研究をお手伝いする部門として生まれ変わりました。治験は製薬会社がお薬や医療用機器を新しく世の中に出す（厚生労働省の承認を受ける）ため、それが安全で有効（役に立つ）かを確認するための臨床研究をいいますが、新しくなった臨床研究開発センターでは、この治験だけでなく、医師や学会などが中心になって、ある病気に対する治療や診断法を確立するために行う研究も支援することになります。大学病院の大きな仕事である診療・研究・教育を通し、医学の益々の発展のため貢献していきたいとスタッフ一同心を新たにいたしております。

●現在実施中の治験および臨床研究●

- 内分泌代謝内科（糖尿病）
- 消化器内科（クローン病・潰瘍性大腸炎）
- 循環器内科（慢性冠動脈疾患）
- 麻酔科（慢性疼痛）
- 小児科（てんかん）
- 眼科（網膜疾患）
- 腫瘍内科（食道癌）
- 神経内科（脳梗塞）
- 皮膚科（類天疱瘡）他

各診療科のディスプレイでも一部ご案内しております。院内図書室の隣にある臨床研究開発センターへお気軽にお問い合わせ下さい。



★メッセージ

センターのスタッフは患者さんに安心して治験等の臨床試験に参加していただけるよう、きめ細かい支援を心がけています。

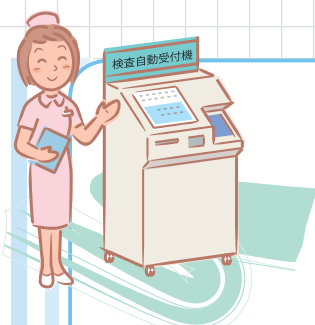
治験・臨床研究を通じて新しい医療を少しでも早く患者さんにお届けできたらと思っております。皆さまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



臨床研究開発センター URL : <http://www.shiga-med.ac.jp/~hqchiken/>
TEL : 077-548-2477

検査部の受付システムが変わりました

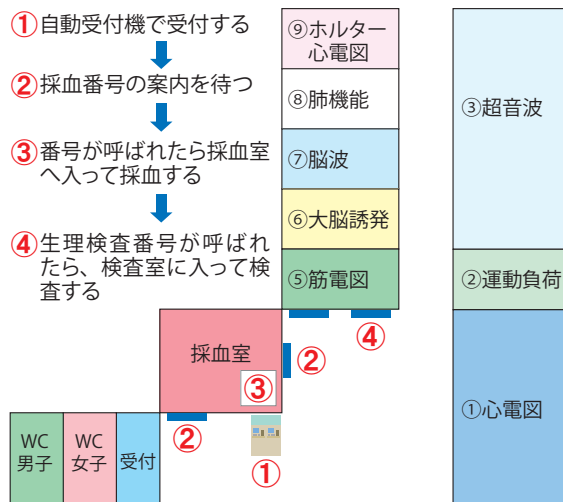
検査部



検査部での受付方法を8月8日より変更いたしました。従来、検査部受付窓口で受付処理をしてきましたが、採血の待ち時間を減らし、検査の流れを円滑にするために検査部受付横の検査自動受付機で受付できるようになりました。また、9月からは、各診療科で実施していた尿検査も中央化し検査部で実施しています。

患者さんは、1階の再来受付機で手続き後、受付票の指示に従って2階検査部受付にお越しください。

診察カードを**検査自動受付機①**に通していただくと、採血や心電図検査などの受付番号を記載した検査整理券が発行されますので、その整理券を持って、採血室や心電図検査室前の待合で順番が来るまでお待ち下さい。



◆生理検査番号が先に呼ばれた場合は、生理検査室へ先にお入りください。

また、尿検査がある患者さんは自動受付機から尿カップが出ますので、中央採尿室で採尿し、採尿室内にある検体提出窓口に提出して下さい。

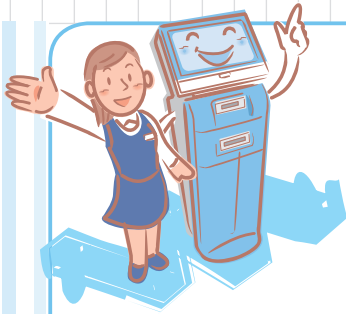
待合案内②または④の表示モニターに番号が表示されましたら**採血室③**および**各検査室**にお入り下さい。

採血および検査が終了しましたら、検査整理券は各診療科で渡される緑のファイルに入れて一緒に会計へお持ちください。

検査受付方法に関して分からないことがありましたら、お気軽に検査部受付窓口にご相談ください。

検査部門では、看護部門と連携して採血および検査を円滑に実施し、待ち時間短縮などの患者サービスに努めてまいりますので、今後ともご理解いただきますようお願いいたします。

再来受付機のご利用方法が変わりました



平成23年10月3日(月)より再来受付機のご利用方法が以下のとおり変更になりました。

受付開始時間を8時25分に繰り上げることで採血の開始が早くなり、診察前に検査結果が判るようになりました。

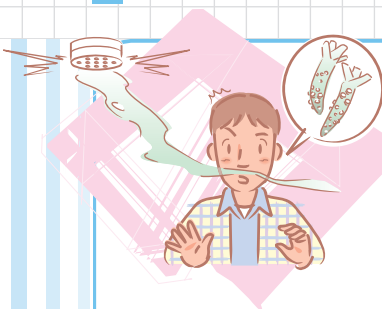
受付時に出力される受付票には当日の予約内容と時刻が表示されます。

	変更前	変更後
ご利用時間	8:30~16:00	8:25~16:00
ご利用者	予約有（手書き、検査予約を除く）でかつ、保険確認3ヵ月以内の方	予約有の方（手書き、日付未指定の予約を除く）

※再来受付機の利用に該当しない場合は、「4番 再来窓口」へお願いします。
ただし、「4番 再来窓口」は、従来どおりの8時30分に受付開始となります。



今井 眞講師がイグ・ノーベル賞を受賞



この度、本学精神医学講座の今井 眞講師が6名の共同研究者とともに2011年のイグ・ノーベル賞を受賞し、現地時間の9月29日の夜に米国マサチューセッツ州のハーバード大学で受賞式が行われました。イグ・ノーベル賞は人々を「笑わせ、そして考えさせた」研究に贈られ、近年その注目度が高まっています。

対象となった業績は「わさび」の刺激性臭気（イソチオシアン酸アリル： C_4H_5NS ）を吸入した聴覚障害者と正常聴力者が睡眠から覚醒すること、覚醒に導く至適濃度が5-20PPMであることを明らかにし、聴覚障害者向けの警報装置を開発したことです。本研究は株式会社シームス、エア・ウォーター防災株式会社の協力により行われ、臭気発生警報装置および異常事態告知方法として特許を取得しました。



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第33号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会
〒520-2192 大津市瀬田月輪町
TEL: 077(548)2012(企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための 基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します